

A3006 セラ1+セフ1 黄帯 6両セット

予価：¥14,300 (本体価格 ¥13,000)

マグネット式紙箱入 (カートン入数：24)



A3007 セラ1+セム6000タイプ° 黄帯 6両セット

予価：¥14,300 (本体価格 ¥13,000)

マグネット式紙箱入 (カートン入数：24)



商品形態

Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

対象年齢14歳以上

実車紹介

福岡県には飯塚、直方、田川、大牟田、荒尾など多数の炭鉱が集中し、明治から戦後まで大量の石炭が採掘されました。この石炭は鉄道を使って苅田や北九州など主要な港に運ばれ、船で日本各地へと運ばれました。この石炭貨物列車に投入されたのが逆台形のホッパーを持つ小型の二軸貨車で、20両、30両といった長大編成が9600やD50などといった蒸気機関車にけん引される姿が見られました。準戦時設計により従来車よりも軽量の車両として1939年より製造された15トン積石炭車がセム6000です。しかし台枠強度などに不足があり、構造強化したセム8000を経て1957年からは積載量を17トンに向上したセラ1が作られました。セラ1はセム6000やセム8000からの改造編入車も含め最盛期には4000両以上が在籍しました。セフ1はセム6000などを元に車体の1/4を車掌室に改造した車両です。

これら石炭貨車には1968年以降、最高速度制限65km/hを示す黄帯が順次いれられました。

こうして日本の近代発展を支えた九州の石炭は、採掘量減少や海外製の流入、石油へのエネルギー転換に伴い1960年代ごろより衰退がはじまりました。セム6000は1979年度、セラ1は1986年度、セフ1は1985年度にそれぞれ全車廃車となりました。

編成図

【A3006】

セラ 95

セラ 1541

セラ 1163

セラ 5440

セラ 1534

セフ 164

- ※ 両セットともに動力は含まれません
- ※ 走行には別途動力車が必要です
- ※ セフ164のテールライトは点灯しません
- ※ セム6505はホラ1の金型を用いた「タイプ」モデルです
- ※ 部品共用のため一部実車とは異なります

【A3007】

セラ 4947

セラ 1493

セラ 2254

セラ 2225

セラ 1206

セム 6505

【組成例】

機関車 (DE10,9600など)

A3006

A3007

A3007

A3006

← セフ 164

セフ 164 →

商品概要

A3006 製品イメージ

- ※写真は従来商品です
- ※機関車は付属しません

A3007 製品イメージ

- ※写真は従来商品を元に加工したものです
- ※機関車は付属しません



Photo:マイクロエース



- マイクロエース貨車シリーズのさらなる充実
- 国鉄石炭車の一時代を築いたセラ1、セフ1、セム6000を、1968年以降の黄帯が巻かれた姿で製品化
- A3006は中間車セラ1×5両と車掌車セフ1×1両をセット
- A3007は全車中間車。セラ1×5両の他、全高の低いセム6000タイプ×1両をセット
- 石炭の積車状態を再現できる部品を取付済。外して空車状態も再現可能
- A3006とA3007を組み合わせて任意の長大編成を再現可能
- ※ 部品共用のため一部実車と異なります。セム6000は類似のボディを利用したタイプモデルです

付属品

なし

オプション

室内灯 非対応

カプラー

非対応



株式会社 マイクロエース

TEL：048-444-2944

FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします
本資料の改変、写真およびイラストの複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです